

学びと誇りが実感できるまち

～子供たちにエールを！

4月から統合です！～

令和3年1月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



雪しげく何か家路の急がるる (中村汀女)

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

コロナ禍の環境は変わっていないため生活に様々な制約がありますが、新たな気持ちを持ち、自己目標をはじめ学校や企業・自治振興区などの目指す目標に向かって困難を乗り越えやり抜く1年にしましょう。

○ 壁にぶつかれば、それはゴールに近づいたこと。なぜなら、乗り越えればゴールが見えてくる。

その乗り越えるとき、苦しいときに向かう体験は、多くのことを学び、その課題そのものを解決する方法を見出し、力を付けることはもちろんのこと、人としても豊かな幅、包容力ができる。

(ノーベル化学賞受賞者：吉野 彰 の言葉)

さて、今回は、4月から小学校を統合して同じ学校に通う子供たちが、交流活動をしている様子をお届けします。交流をしている子供たちが、新たな体験をしている様子、楽しみにしている様子、張り切っている様子、また一緒に活動したいと願っている様子がうかがえます。

- ・ 友達がたくさんできてうれしかった。わからないことも教えてもらった。次は自分から「友達になろう！」と言いたい。
- ・ 最初は緊張したけど、たくさん友達がいる中で勉強したのは楽しかった。
- ・ 休憩時間にサッカーやドッジボールをしてとても楽しかった。
- ・ 英語のテンポが速くてびっくりしたけど、いろいろな意見を聞くことができた。早く慣れてもっと勉強しようと思った。
- ・ 大勢が話したり遊んだりしているので、チャイムや放送ですぐ行動できるように頑張ろうと思った。
- ・ 次の交流が楽しみ。…………などなど。

新しい環境の生活や学習に少しずつ慣れていっている様子がわかります。子供たちが4月からの新しい学校生活に向けて、学びを広げ、深め、一緒に活動することを楽しみにしています。子供たちにエールを！応援してください。